

花き新規栽培者説明会資料

1. 開会

2. 内容

花き栽培暦	1 ページ
(1) シャクヤク	2 ページ
(2) アスター	3 ページ
(3) ケイトウ	6 ページ
(4) エレムルス	7 ページ
(5) スターチス	8 ページ

3. 質疑応答



シャクヤク



エレムルス



ケイトウ



アスター



スターチス

【お問い合わせ】

J A 中野市園芸課

住所：中野市金井 53-1

TEL：0269-23-3933

担当：山田 080-6998-0407

シャクヤク ボタン科

中野市のシャクヤクは生産量が日本一で、品質の高さと必ず咲くシャクヤクを目指し栽培しています。近年、ネット販売や量販店での販売が伸びており、平均単価も上がっています。



1. 特徴

- ・夏秋品目の前に春先の所得を得られる。
- ・集中的に短期間で作業ができる。
- ・定植後は20～30年据え置きで栽培するため毎年の定植が無い。

2. 作業日程（露地作型）

月日	4月中旬	5月上旬	5月中下旬	10～11月
作業内容	間引き	芽整理	収穫	定植（初年度） 刈払い（2年目以降）



○定植：10～11月（↓5年目以降）

○間引き：4月中旬

芽が出て20～30cmになったら本数整理する

○芽整理：5月上旬

側蕾を整理し、頂点の蕾のみにする。

○収穫、荷造り：5月中下旬

畑で数本咲きだしたら収穫→1品種につき約2週間前後の収穫期間

○台刈り：11月以降

枯れ始めた茎を刈り取り処分

【作型別出荷時期】

加温ハウス	4月上旬～中旬
無加温ハウス	4月下旬～5月上旬
2条ハウス	5月上旬～5月中旬
露地作型	5月中旬～5月下旬

3. 収益性 露地作型（10a 当たり） 栽培目安：1人/5a（露地作型のみの場合）

収益	収穫本数	単価	経営費	所得	所得率
1,133,000	11,000	103	554,000	579,000	51%



4. その他

○新品種の導入

ボタンとシャクヤクのハイブリッド品種やアメリカ系品種と呼ばれる品種には、脇芽が出ないものもあり作業時間の省力化が可能。

○種苗導入について

100株単位で注文 種苗導入費の補助事業を行っている。約20%

※新品種はすでに在庫切れが多く、次年度の発注になる場合がある。

注文は5月までに行い、苗は10月頃に納品

アスター キク科 エゾギク属 1年草

中野市では、量販店への盆前出荷をメインに取り組んでいる。現在、全国的な生産量の減少から販売単価が上がってきている。

アスターは定植、収穫、荷作りの作業がシンプルなので新規栽培者や小規模兼業農家、複合品目としても取り入れやすい。また、畑にあるのは3ヶ月程度なので、秋に輪作として野菜等の栽培も可能。

1. 特徴

- ・播種から収穫までの栽培期間が約4カ月と短期間。
- ・栽培労力が少なく、複合経営としても取り組める。
- ・販売価格は乱高下がなく、安定している。



2. 作業日程

○播種・育苗：3月末～4月上

4月中旬までに播種を行い、播種から定植まで1カ月間灌水などの育苗管理を行う。

○定植：5月上

本葉4～5枚の頃、定植をする。5月中旬までに定植を行い、定植後も1カ月間水を切らさないよう灌水を行う。※目安としては、葉が地面を覆うようになるまで

○脱葉：7月上～7月中

収穫の1～2週間前に下葉をかき、風通しを良くする。荷作り時の葉かきが少なくなるため、作業の分散につながる。

○収穫：7月下旬～8月上

収穫開始 中心花を除いて側枝の開花で4～5輪咲いたころ。※咲きすぎ注意
お盆に向けての出荷となるため、盆前を目途に収穫終了を目指したい。

3. 収益性（10a 当たり） 栽培目安：3a/1人当たり

収益	出荷本数	単価	経営費	所得	所得率
1,608,000	24,000	67	978,600	629,400	39%

4. その他

○定植作業の省力・時短

手植えが主流であるが、大規模農家の方に向けて、チェーンポット（簡易定植器）での定植を推進中。定植時間の大幅減、体への負担も少なく、根の活着が良い。

○収穫前の下葉かきの実施

草丈の下半分は葉をかき、葉の落とす量が少ないと、荷作りにかかる時間が多くなるため思いきって落とす。

○種子の注文について 3月中旬までに

育苗する施設が無ければJAで育苗管理委託も可能



8月出荷用 量販向けコギク キク科

名前の通り、量販店（スーパー）に向けて栽培し、出荷に取り組んでいる。特に関西方面でコギクの需要が高く7月中旬から盆前まで相対価格に沿って販売出荷しているため、安定した価格で出荷が可能。

1. 特徴

- ・販売単価が時期で確定している。
- ・推奨品種の栽培で盆前の2週間でおおむね出荷終わる
- ・機械作業が多く省力的で取り組みやすい。
- ・果樹栽培との相性も良く、副合品目としての導入も可能。



2. 作業日程

月日	4月末～ 5月上	6月上	7月 上～中	7月下～ 8月上	9月
作業内容	台刈り	土寄せ ネット張り	下葉とり	収穫	土づくり・定植

○定植：前年9月

秋に定植を行い、翌春の立ち本数を増加させる

○台刈り：4月末～5月上

立ち本数増加・開花調整をおこなうため、草刈り機で地際10cm残して切り揃える。

○土寄せ・ネット張り：6月上旬

追肥を行い管理機などで株元に土を寄せる。その後倒伏防止のため30cm×3マスフラワーネットを張る。

○収穫：7月下旬～8月上旬

収穫時期7月20～25日から開始。約3週間前後の収穫期間となるが、盆前を目途に収穫終了。

3. 収益性（10a 当たり） 栽培目安：3a/1人当たり

収益	収穫本数	単価	経営費	所得	所得率
980,000	28,000	35	450,000	530,000	54%

4. その他

○薬剤防除の徹底

荷造り作業時の時間を少なくするには、こまめな防除を行うことが肝心。

○量販店向けの品質を目指す

高単価の品目ではないため、ほどほどに良い物を手早い作業で荷造りして出荷する。

○苗代について

苗については管内の生産者圃場から、苗を掘り取っていただく場合は無償で提供。



トルコギキョウ リンドウ科（ハウスが必要です）

生理・生態

育苗期に一定の低温に遭遇するか涼温下で経過するとその後の温度（高温）の影響を受けにくくなり、順調に開花し生育に至ります。

長日植物のため、高温、長日で開花が促進し、光合成速度は 18～26℃付近で最も高い。

生育条件

水と光と温度を十分に必要とします。

温度…トルコギキョウの生育温度は、日中の気温が 35℃以下、夜間は最低 10℃以上の時に生育し、最も順調な生育温度は日中 25℃以下で夜間 15℃前後です。

高温時の管理

- ・花芽分化は、様々な環境条件に影響され、日長と温度、特に夜温に支配されます。
- ・夜温 15℃以上の場合は、ハウスを換気しなるべく涼しく管理します。
- ・出蕾後の頻繁な灌水は、花首の徒長と茎折れになるため様子を見ながら行います。

収益	経営費	所得	所得率
2,350,000	1,650,000	700,000	30%

7 月出荷

収穫本数：23,500 本 平均単価：100 円
3 a / 1 人あたり

栽培管理

定植 育苗した苗の定植 作業時間 1 a / 約 1 日

灌水 草丈の伸長と花の大きさを左右するためトルコギキョウ栽培で最も重要。初期はたっぷり、後半は様子を見て涼しい朝方に灌水資材や動噴を使用して行う。そのため水利が近くにある場所が望ましい。



トルコギキョウ定植

枝整理・蕾整理 出荷時の規格に合わせるために無駄な枝の整理を行う。下部と上部の 2 ブロックに分けてそれぞれ生育に合わせて枝を落とす。

収穫前には余計な蕾を落として花を大きくする摘蕾の作業がある。遅れると花が小さくなりがちなので極力圃場で落としてボリューム感を出して「高品質」なトルコギキョウを出荷する。



圃場の様子



荷づくり



出荷形態

ケイトウ ヒユ科

短期間で栽培ができ、秋の彼岸とハロウィンでの季節商材として人気。空いた畑を活用し、マルチを使用することで除草の手間も省け省力的に栽培ができるため花きの新規栽培者に合った品目。

1. 特徴

- 直播の場合播種してから2ヶ月で出荷が可能。
- マルチを使用するため除草が少なく省力的。
- 密植栽培のため反別収量多く、畑の面積が少なくても収益性が高い。

2. 作業日程

品目名	6月	7月	8月	9月	10月
ケイトウ		○	○	■	■
作業		播種	播種	収穫	収穫

○播種：直播 7月上～8月上

播種時期をずらすことで収穫時期もずらすことができる。

播種から2ヶ月で収穫になるイメージ。

玉ねぎ用の穴あきマルチを使用して雑草対策を行う。

○収穫：9月1日～10月中旬まで

花首が固まったら収穫開始。満開から種が着くまで（1週間程度）に収穫を行えばよい。

3. 収益性（10a 当たり） 栽培目安：3a/1人当たり

収益	収穫本数	単価	経営費	所得	所得率
2,000,000	40,000	50	1,146,000	854,000	43%

4. その他

○肥料が残っている畑は無施肥で栽培→土壌分析を実施する。

吸肥力強いいため残肥がある場合無施肥で良い。肥料が多いと茎が扁平し規格外となってしまう。

カリ不足の圃場では、花を大きくするためカリ肥料を施用する。

施用例）1a 当たり 塩化カリ 5kg

収穫前に葉色が淡くなる場合は、液肥や追肥で補う。（尿素 1,000 倍希釈液等）



エレムルス ツルボラン科

ホテルや生け花教室等で利用されることが多いエレムルスは、近年他産地での高齢化による出荷量減少に伴い販売単価が上がってきている品目である。栽培は容易で1度植えれば毎年6月頭ごろから咲き始める。7月頃には地上部の葉が枯れ、翌年の春先まで萌芽せずに越冬する。

1. 特徴

- ・病害虫に強く、栽培は容易で管理作業は少ない
- ・3～5年は植えたままで良い
- ・空いている園地を有効活用するための副品目として
- ・1度導入すれば株分けで増殖可能

2. 作業日程

○定植：前年10月

土質は選ばないが、なるべく排水性の良い場所に植える。

○防草対策：4月

除草剤及び、敷き藁等を被せ雑草の発生を抑えておく

○収穫：6月上旬

花穂の内下から2～5輪が開花したところに順次収穫を行っていく。荷造りが他の品目に比べ長さの調整と重さ（太さ）を選別するだけであるため簡単。



3. 収益性（10a 当たり、3 年目以降） 栽培目安：5 a/1 人当たり

収益	収穫本数	単価	経営費	所得	所得率
1,035,000	15,000	69	400,000	635,000	61%

4. その他

○秀品率維持のための改植

長い期間改植をしないで栽培を続けていると株が込み合い細い茎のものが多く所得率が減少するため、5年程度を目途に改植を行う。

○翌年から収穫可能

株の養成期間が無く、翌年から収穫は可能。
秋に球根を掘り起こし、球根を分けて定植することで徐々に増やすことができる。

○凍霜害を受けるリスクを考慮

春先から萌芽し始めるため、中には凍霜害を受けてしまう場合もある。

○苗の注文について 8月頃までに



スターチス イソマツ科

花もちがよいのでフラワーアレンジで活躍し、ドライフラワーにしても褪色しにくいので、インテリアに長く飾って楽しめる花材としても人気の花。

霜や、湿害に弱いため新規栽培者はビニールハウス（2条でも可）が必要になる。

1. 特徴

- ・ マルチを使用するため除草作業が少なく、乾燥を好むため灌水（水くれ）の手間も少ない。
- ・ 1 株から 30 本近く収穫ができるため、反別の収量が多い。
- ・ 立ち枯れ病には強く、トルコギキョウの連作障害多発園でも栽培可能な代替品目になる。
- ・ 長い期間収穫できるため初夏の主力品目になる。

2. 作業日程

○定植：3 月

マルチを被覆し、穴をあけて定植する。

定植後この時期は霜が降りるため、小トンネル等の設置が必要になる。

○株養成：定植後～約 2 ヶ月間

株の直径が 30 cm を超えるまで、灌水を行いながら伸びてきた茎を摘み取り株を大きくする。



○収穫：6 月中旬～

株養成が終了したら概ね 50 日前後で収穫となる。収穫した株から再び萌芽し、また 50 日前後で収穫となり、2～3 回の収穫で 1 年で可能。

荷造りが他の品目に比べ長さとボリュームでの選別基準であるため、荷造りに手間はさほどかからない。

3. 収益性（10a 当たり） 栽培目安：3 a / 1 人当たり

収益	収穫本数	単価	経営費	所得	所得率
3,240,000	72,000	45	1,794,280	1,445,720	45%

4. その他

○輪作が可能

1 年草のスターチスであるため 8 月に草丈が確保できなくなったら収穫を終了し、圃場整理後秋冬品目（ブプレウム等）に切り替えることも可能。

○品種構成

市場からの要望がある品種を導入する。黄色や白色等、紫以外の品種の出荷が望まれている。

ナルコラン 葉物（アマドコロ）ユリ科

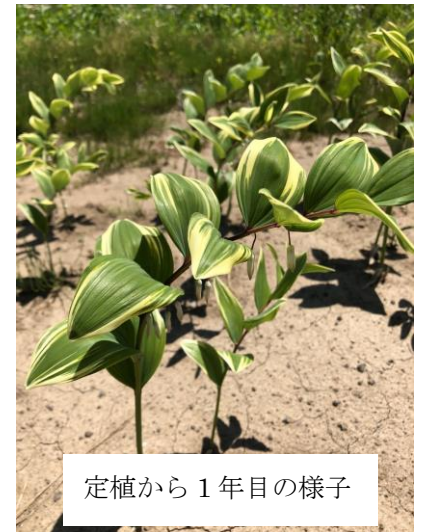
ナルコランは生け花やパック花に添える葉として利用されている。花が散った後に葉を収穫するため収穫期に幅があり収穫が集中せず労力配分がしやすい品目です。元々山野草であるため寒さには強いが暑さと乾きには弱い。

1. 特徴

- ・6月以降落花後に葉が固くなったら収穫
- ・収穫までの3年間は養成期間が必要
- ・梅雨時期の防除はこまめに行う

2. 作業日程

月日	雪解け後	6月上	6月中～ 9月	9月～10月
作業内容	除草剤 散布	寒冷紗 設置	収穫	定植（1年目） 刈り取り（3年目以降）



○定植：9月～10月

秋に定植を行い、3年目から収穫となる。

○寒冷紗設置（3年目）：6月上旬

落花後に葉が固くなり始めるころから、**白化症状（図1）を防止するため50%遮光率の日よけを行う**。落ちた花が葉の上に乗ったままだと病気が発生するため晴れた日にふるい落とす。

○収穫：6月上～9月

葉が固くなるころに収穫となり、花が落ち切った状態で収穫する。病虫害の被害が出ていなければ9月までの収穫が可能。ただしその分長い期間防除が必要になる。

3. 収益性（10a 当たり、3年目以降）

栽培目安：2～3a/1人当たり

収益	収穫本数	単価	経営費	所得	所得率
1,320,000	44,000	30	753,000	567,000	43%

4. その他

○寒冷紗購入助成

白化防止の寒冷紗をJA補助事業により資材費約20%補助予定

○苗の注文 8月頃までに

○株の増殖

株の自家増殖が可能なので、1年間株養成期間を設け増殖させることも可能。

○6年目以降株分け

立ち本数が多くなりすぎるため、改植し株の更新を行う。



寒冷紗設置により葉やけを防ぐ

ワレモコウ バラ科

山野草であるワレモコウは、近年市場から出荷量増大を強く要望されている品目で、小さい花が特徴的で耐寒性が強く中野市での栽培に向いており、新規栽培者でも取り組みやすい品目である。

1. 特徴

- ・宿根草であるため、定植後 3～4 年据え置きで栽培ができる。
- ・うどんこ病の発生が多いため防除が重要。
- ・収穫適期が長いため収穫作業にゆとりがある。

2. 作業日程

○定植：3 月下旬～4 月上旬

雪解け後に堆肥を施用し土づくりを行う、排水性の悪い圃場は高畝にし根腐れによる欠株の対策を行う。

○代刈り：3 月下旬

うどんこ病対策として地際部を残して越冬した際に枯れた残茎等を刈払う。

○収穫：8 月下旬～10 月頃

収穫は 1 年目から可能で、下の葉を残してすべて収穫する。品種により収穫時期が前後するが、推奨している「かぐや姫」はおおむね 9 月上旬ごろの出荷となる。

3. 収益性（10a 当たり） 栽培目安：5a/1 人当たり

収益	収穫本数	単価	経営費	所得	所得率
825,000	15,000	55	412,000	413,000	50%

4. その他

○病害虫

害虫ではコガネムシ、ハダニ類が多く、病気はうどんこ病、炭疽病の防除を梅雨時期から防除暦を参考に重点的に行う。

○倒伏防止

強風が吹きやすい場所では、障壁作物（ソルゴー）を圃場の周りに植える等して対策をとる。

丈が伸びやすいため倒伏防止のために、フラワーネットと支柱を設置する。



クジャクソウ（宿根アスター） キク科アスター(シオン)属

現在では、園芸品種として交配され、花色花の大きさ等異なる品種が栽培されており、シロクジャクとミケルマスデージーとの交配によって育成させた品種群の総称です。その中の代表種でその他の品種の親となっているシロクジャクは、北アメリカ原産といわれています。

繁殖が容易で、定植後も台刈り程度と省力的な品目です。

1.生理・生態 主としてシロクジャクについて

秋の開花後降霜期になると地上部が枯れて、地下部は短い吸枝を多くつけ、葉だけ展開してロゼット状となり、生育は停止します。冬の低温に遭遇した後、温度の上昇と長日条件で茎が伸長します。花芽の分化には短日が必要で自然状態では分化は8月上旬に始まり、9月中旬～10月上旬に開花します。このように茎の伸長は、長日で促進され、花芽分化、発達には短日で促進します。14時間日長で開花100%

2.栽培管理

○定植・株分け：10月～11月上旬 - 翌年9月中旬収穫

床幅80cm、通路60cm、条間45cm、株間30cm 2条千鳥定植

○台刈り：6月上旬

○施肥

元肥:1a当たり 堆肥200～300kg 3要素各0.8kg pH6程度

追肥: 台刈後施用

3.収穫

5～6輪開花したものから収穫します。9月中旬～



マジョレーヌ

4.所得目安

収益	収穫本数	単価	経営費	所得	所得率
1,890,000	42,000	45	945,000	945,000	50%

5.その他

○台刈り（摘心）

花茎数の確保と開花時期が遅い場合の茎の木質化防止や草姿の改善を目的とする。

台刈り時期は開花の90日前を目安に行う。早すぎると茎が木質化したり花つきが悪くなり、遅すぎると草丈が短くなるため注意する。